

学びのスタンダード (児童・保護者用)

「学びのスタンダード」は、小学校入学から中学校卒業までの9年間の学びの基盤となる学習の仕方について、つくった共通のきまりです。

めあて

小学校での学習の仕方について、1年生から6年生までに共通のきまりをつくることで、6年間の学習をより効果的に積み重ねることができるようにする。

内容

(1) 時間、教室移動

- ・授業が終わったら、次の学習の準備をしてから休けいする。
- ・教科書、ノート、筆箱は机のきき手側に置く。
- ・チャイムの合図までに席に着く。
- ・静かに教室移動をする。(すれちがう人には気持ちのよいあいさつ、会釈をする。)
- ・席を離れる時には、いすを入れる。(周りの人への気づかい)

(2) 学校生活

ロッカーの整理

- ・ランドセルはロッカーから防犯ブザーなどが出ないように片付ける。
- ・ロッカーの上に水筒を置く場合は、きめられた位置にひもが垂れないように置く。(ひもを本体に巻き付けてもよい)
- ・安全ぼうしはランドセルの中に入れる。



(○)



(×)

口はき物の整理

- くつは、かかとをくつ箱の手前にそろえて置く。
- トイレのスリッパは、かかとをそろえて置く。



口引き出しの整理

- 全ての学習用具に名前を書き、いつも使いやすいように整頓しておく。
- 右側に教科書類（日課の順番に重ねる）、連絡袋、下じきを置く。
- 左側に筆箱、そのほか必要な学習用具を置く。



(3) 学習態度

- 服そうを整える（名札を付ける、シャツを入れる）。
- よい姿勢（グー・ペタ・ピン）を心がける。
- 礼の後、体を起こしてから「お願いします。」「ありがとうございました。」
- 手を挙げる時は、だまって、ひじを伸ばす。
- 発表する時は、名前を呼ばれて返事をしてから発表する。
- 机の上は、使いやすいように整理する（使わないものはしまう）。

(4) 学習用具

口筆箱の中

- 1, 2年生の筆箱は箱形の物、3～6年生はバッグタイプでもよい。
- えん筆は5本程度入れておき、名前を書いておく。毎日、けずって持ってくる。
- 赤青えん筆、消しゴム、名前ペン、定規（折りたたみ式ではない物が望ましい）を入れておく。



- ・シャープペンシルは使用禁止（正しい筆圧の獲得、集中力の欠如）。
- ・学習に必要なものを持ってこない。

□下じき

- ・無地の物を使う。

□お道具袋

- ・はさみ、のり、クーピー、クレヨン、ラッシュンペンなどを入れて机の横にかける。

□学習用具の使い方

- ・えん筆を正しく持つ。
- ・定規の使い方を身に付ける。

- ① 片手でしっかりと定規をおさえる。
- ② 鉛筆を定規にあててまっすぐな線を引く。



縦の線を引く場合



横の線を引く場合



□ノートの使い方

- ・下じき、定規を使う。
- ・日付、めあてを書く。
- ・学習のまとめやふり返りを書く。
- ・めあて、学習のまとめやふり返りは赤で囲む。
- ・間かくをしっかりとる。

6/18

④ わる数の大きさと商の大きさの関係を調べよう。

問 1.2mの代金が240円の赤いリボン、0.8mの代金が240円の青いリボンがあります。1mのねだんは、それぞれいくらですか。

赤 $240 \div 1.2 = 200$ (答え) 200円

青 $240 \div 0.8 = 300$ (答え) 300円

赤 $\frac{200}{1.2} = \frac{500}{3}$ (円)

青 $\frac{300}{0.8} = \frac{375}{2}$ (円)

比較している

赤 200 , 青 300

$1.2 \times 200 = 240$, $0.8 \times 300 = 240$

☆ 青のリボン

⑤ 小数でわるわり算では、1より小さい数でわると、商はわられる数より大きくなる。

秋 わる数 < 1 のとき 商 > わられる数
 わる数 = 1 のとき 商 = わられる数
 わる数 > 1 のとき 商 < わられる数

えらいっ！
 ちゃんと復習してきたね！